

山形県PTA親子読書だより

第 5 号
令和 2 年 3 月発行
山形県PTA連合会
親子読書推進委員会

《スローガン》 **親子で読書 深める絆**～本を読む子は かならず伸びる～

- ▶ 山形県PTA連合会では、親も子どもと一緒に読書に親しみ、家庭に読書文化の礎を築くために親子読書を推進しています。
- ▶ 親も子も共に読書に親しむことで、親子のコミュニケーションを活発にし、子どもも親も心が豊かになり、絆が深まることと思います。
- ▶ 読書習慣が子どもの学力をアップします。読書習慣は文章を読み解く力と密接に関係しているのです。



子どもが育つ時間はあっという間。けんかをしたり、叱られたり、いろいろあっても、親子で絵本に浸る時間は優しく気持ちを解きほぐしてくれます。…
読み聞かせは「愛の時間」なのです。 (学校図書館アドバイザー：五十嵐絹子)

応募ありがとうございました！

令和元年度 「あなたが選ぶ一冊」の紹介

《児童・生徒の応募》の中から・・・

【ざんねんな生きもの事典】

生きていく中で一生けんめいなのに、どこかしらざんねんなところがある。生きものの中には、ものすごい能力をもっていたり、不老不死の生き物がいたりする。でも、その中にも「どうしてそうなった？」という動物がいます。それをこの本がたくさん教えてくれます。(小6)

【ママがおばけになっちゃった】

この絵本は、ある日ママが交通事故で亡くなり、おばけになって、かんたろうがママの大切さを知るといふ絵本です。私は、いつもお母さんに口ごたえしてしまいます。でも、この絵本を読みお母さんの大切さを改めて感じました。お母さんを大事にしていきたいと思いました。(中1)

【ないた】

あんまりなかない おかあさんが、ふとんのなかで なみだをながしているのをみて、かわいそうにおもいました。(小1)

【君たちはどう生きるか】

自分の生き方を決定できるのは自分だけ。コペル君の友達の好奇心を見ていると、大人でもワクワクすると思います。勇気を出せず約束を守れなかった場面もあり、友の大切さがわかる一冊だと思います。(小6)



《親・教師の応募》の中から・・・

【北高野球部学生監督ガイ】

息子から、親子読書この本一緒に読もうと誘われました。学生のガイ君がケガをして野球部から離れていたところ、友人から一緒に野球をしようといわれました、しかも、監督とは。大人の考えでは思いつかない少年の発想に感動しました。野球部廃部の危機に立ち上がり、友情、情熱、青春があり、本に吸い込まれそうになるよい本でした。(小3父)

【スマホを落とすだけなのに】

SNSやネットでのトラブルに気をつけよう・・・と研修会等よく耳にしていたが、実際にどのようにしてトラブルにつながっていくのか？スマホ内の個人情報などがどのように漏れていくのか？自分に置き換えて想像しやすく、SNSやネットの怖さを感じられる本だと思います。(中1母)

【伝記アムンゼン】

偉業を果たした人物の伝記で、どのように偉業を成したのか、どのような工夫と取組があったのかを子どもに知ってほしかった。また、悲劇的な最期を遂げた人物でもあり、偉業を成した優れた人物でも、常にリスクと隣り合わせで物事を成し遂げたことを知ってもらいたかった。(小4父)

【たまごにいちゃん】

子どもと大人の狭間にいる主人公、つい我が子を重ねてしまいます。いつかは殻が割れて大人になっていくけど、大きくなっても時々甘えていいんだよと伝えたい本です。(小5母)

【お知らせ】

応募いただいた「書籍・推薦文(推薦の理由)」を山形県PTA連合会のホームページにアップいたします。是非ご覧下さい！
ホームアドレス <http://www.ymgt-pta.jp>

親子読書活動紹介《置賜地区》



読書で育む～地域、家庭、心～

小国町立小国小学校



「図書館へ行こう！」

～ボランティアサークル「トライあぐる」の取り組み～

○たくさん子どもに図書館に足を運んでもらいたい、そんな思いで始まった取り組みです。本との出会いにとどまらず、季節や人と関わる楽しさを知ってほしいと活動しています。

「読み聞かせ、昔語り」～朝の時間を活用～

○地域の方から朝の時間を活用して読み聞かせや昔語りをしています。子どもの琴線に触れる本を読み聞かせいた

だいたり、地域に伝わる昔話を語っていただいています。

「本でつなぐ」

～保小、家庭をつなぐ読育推進司書の取り組み～

○小国小には読育推進司書が配置されています。小学校の図書室経営に加え、保育園の読書環境整備にも力を入れています。「小さな子が手に取りそうな本は何か」「保護者が園児に読み聞かせしやすい本は何か」そんな視点で家庭読書の普及に努めています。



親子読書活動紹介《庄内地区》

読み聞かせ「リプル」、親子読書、「図書館応援団」

庄内町立余目第三小学校



本校では、保護者と地域のボランティア「リプル」による読みきかせを年14回行っています。昨年度からPTA親子読書委員の方からも読み聞かせに参加していただいています。ボランティアの方々子どもたちへの思いのつまった選本、学習に関連させた選本で読み聞かせを行っており、朝の10分の読み聞かせを子どもたちは楽しみにしています。

PTA親子読書委員会では、

「絵本を通して親子のふれ合いを深め、本好きな子どもに導く」というねらいで、読み聞かせと親子で同じ本を読んで感想をまとめる活動を行っています。

また、地域ボランティア、親子読書委員、保護者の方のご協力で図書館整備「せいが図書館応援団」活動も行っています。図書館・学習センターの環境整備や読書祭りのお手伝い（しおり作成）をしていただいています。保護者・地域と連携しながら読書を通して子どもたちの心を育み、学びの力を育てることを目指しています。

親子読書カードと感想

ねん		くみ		はん	※感想はこの欄に書きます。	
本の題名		月	日	本	はじめにもらった人が家の番名を書きます。	
1	さんしょう たろう	6	1			
2	さんしょう じろう	6	7			
3	○○ ○○					
4	○○ ○○					
5	○○ ○○					





親子読書活動紹介《最北地区》

親子で楽しむ「家族読書」～家庭読書の習慣化を目指して～

東根市立長瀬小学校

本校では、秋の読書まつりに合わせて、家族読書を行っています。お家の方と一緒に本を読み、お互いに感想を交流することを通して、もっと本を読んでみようという意欲付けとなったり、今後の家庭読書が習慣化したりすることを目指し取り組んでいます。

○家族読書カードの活用

楽しく家族読書ができるようにカードを活用しています。カードには読んだ本の挿絵や児童、保護者の感想を書く欄があります。カードは図書室前に全校掲示します。



○家族読書にお勧めの本の紹介

読み聞かせボランティア「ききみみずきん」さんに家族読書にお勧めの本を紹介してもらい、本を選ぶ参考にしてもらっています。



【保護者の方から】

私も小さいころ、この本が大好きだったのでとても懐かしかったし、この本を選んでくれてうれしかった。

毎年子どもの選ぶ本を読んで、成長を感じる。

(本の内容から)人間にとって何が必要かを一緒に考える時間ができた。

○『夜のとしょかん』の実施

親子読書カードに書く本を選ぶために、学校図書館を夜に開放します。親子で本を選んだり、読み聞かせをしたりと秋の夜長をゆっくり過ごしています。



親子読書活動紹介《村山地区》

図書委員会とPTAが協働した読書活動

天童市立第二中学校PTA

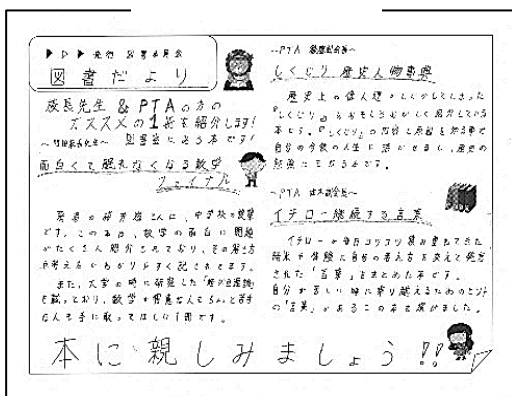
天童二中では朝の活動に朝読書を取り入れて10年余りになる。生徒は毎日、登校するとそれぞれが準備した本で読書をしている。そんな中、今年度、生徒会図書委員長から、より有意義な読書活動にしていくために、次のような提案があった。

＝提案＝

生徒が読んでいる本のポップを作って図書室で紹介するだけでなく、先生方や保護者からも読んでほしい本を紹介してもらい、それを図書だよりで紹介したり、その本が図書室にあるときは“〇〇先生のお薦め”“〇〇さんのお薦め”としてポップで紹介したりする。



【図書だより】



【生徒が作成したポップ】

☆保護者の感想【生徒会活動への協力】

生徒から「お薦めの本の紹介」の依頼を受け、いろいろなことを考え、悩みながら決めました。おかげで、親子で本の内容について話をしたり、感想を伝え合ったりすることができて、とても貴重な機会となりました。

PTA会長 五十嵐彰宏

保護者氏名	五十嵐彰宏
本の題名	世界の音楽家たち
著者名	小川仁志
「この本を読んで感じたこと」	音楽、難しいな。確かに読んでみると難しいと感じます。
「お薦めの本の紹介」の依頼を受け、いろいろなことを考え、悩みながら決めました。おかげで、親子で本の内容について話をしたり、感想を伝え合ったりすることができて、とても貴重な機会となりました。	しずしずになったページを読んでみると自分の考えや行動はどういうふうな振り返ってしまっています。感情行動、経済学、宗教など、深く考えた言葉に触れてみてほしい。

「あなたが選ぶ一冊」ベスト5

過去5年間にわたる応募の中から、親・教師・子どもが推薦してくださった書籍“ベスト5”を紹介します。家族で一緒に読み合ってはいかがでしょう。

トピックス!!

- ☆「グレッグのダメ日記」は昨年 10 位から急上昇↑
- 6 位「オウマガドキ学園」↑
- 7 位「100 万回生きたねこ」→
- 「先生しゅくだいわすれました」→
- 8 位「ママがおばけになっちゃった」↑
- 9 位「かみさまにあいたい」↑
- 「スイミー」↑

☆過去5年間の応募総数：6,563件



“シリーズ本” ランキング ベスト5

書籍“ベスト5”には入らなかったものの、シリーズ本としてみると、多くの方から推薦していただいた本があります。大変人気のあるシリーズ本です。

【かいけつゾロリ】

ゾロリはいろいろ違う事がありますが、あきらめずにがんばることで大活躍します。あきらめずに続けているとそのうち成功する？お話。

【バムとケロ】

バムとケロの他にたくさんのお友達が登場するので、読むたびに子どもと新しい発見ができる楽しい一冊です。

【おしりたんてい】

少しおかしな（おならを出す）おしりたんていが、依頼があるとすばやく推理し、事件を解決してまいります。おしりたんていの他にもおもしろい魅力的なキャラクターがでています。

- 1位：「かいけつゾロリ」
 2位：「おしりたんてい」
 3位：「ルルとララ」
 4位：「バムとケロ」
 5位：「ぐりとぐら」
 6位：「ハリーポッター」
 ”：「11ぴきのねこ」

【ぐりとぐら】

ふたりでちからをあわせてカステラをつくっていたので、すごいと思いました。大きくておいしそうなおカステラでした。

【ハリーポッター】

もし、自分や家族が魔法使いだったら、楽しいのか大変なのか想像もつきませんが、夢があるお話です。

【ルルとララ】

おりょうりをつくるおはなしです。おきゃくさんをよんでパーティーをひらきます。いつもおいしそうなおかしができます。